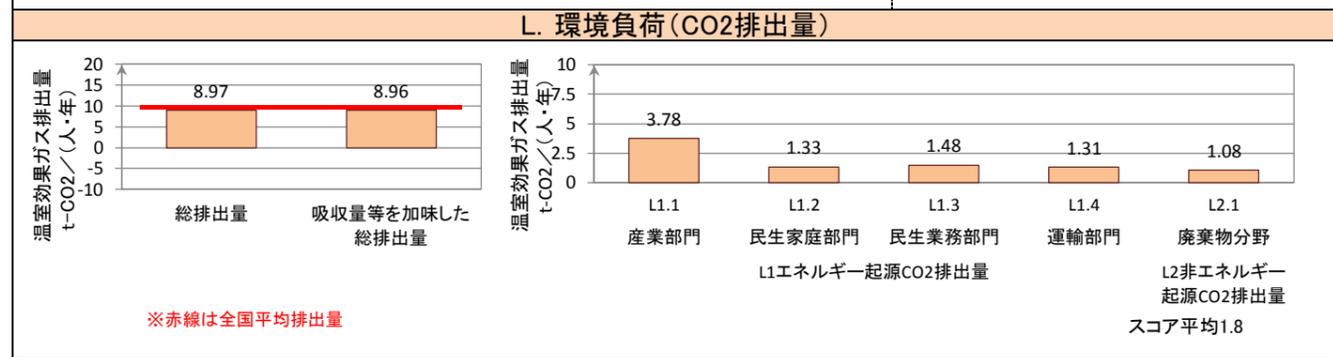
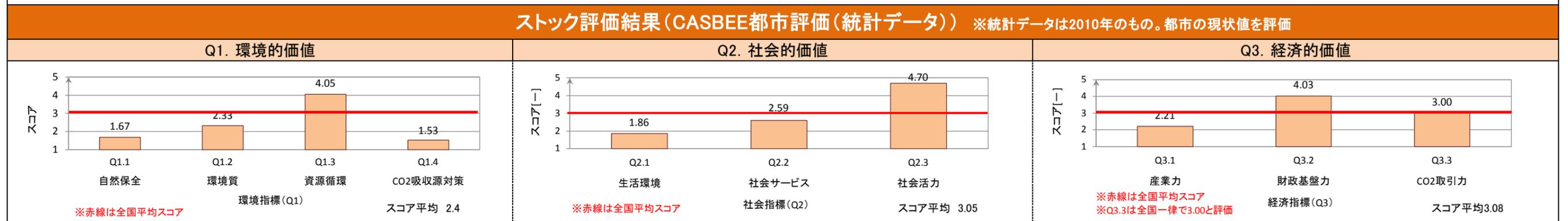
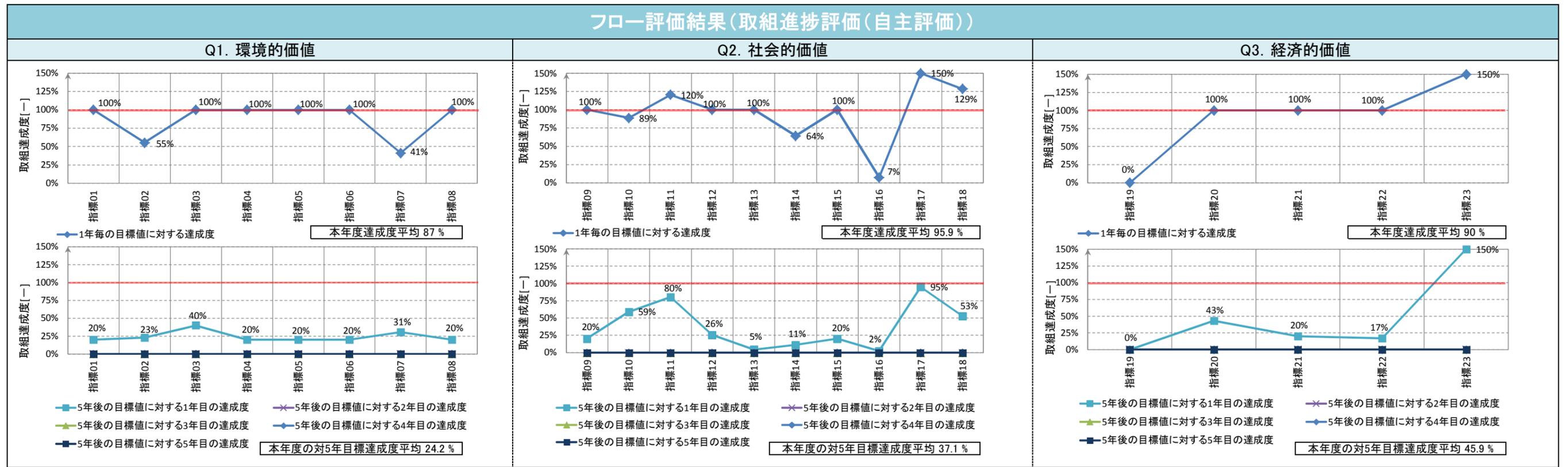


評価結果総括表 (2013年暫定版)

<p>千葉県柏市</p>	<p>人口: 404, 040人 世帯数: 166, 231世帯(平成25年3月末現在) 就業人口: 188, 536人(平成24年3月末現在) 面積: 115万km²(うち森林面積0. 0112万km²)</p>	<p>平成24年度の 取組の都市総括</p>	<p>概ね24年度の実績は当初の計画通りの内容であった。 個別には、環境的価値においては、スマートメーターの設置とマルチシェアリングの利用状況が目標の半分となっており、周知とPRの徹底をはかることとする。 社会的価値については、目標以上の成果を挙げている反面、ポイントプログラムの加入者が達成率7%となっている。これは、プログラムの開始時期が3月末となったためであり、翌年度は定期的なイベントを通じて会員獲得を行うこととする。 経済的価値は、目標の150%を達成した項目もある反面、総合特区を活用したエンジェル税制の規制緩和を前提とした目標であるため、規制緩和ができていない以上当初の計画は進んでいない。今後は、所管省庁との調整を図り打開策を検討したい。</p>
---------------------	---	-----------------------------------	---



推進ボードからのコメント

初年度で、環境価値のプログラムは建設計画段階、社会的価値に関してはようやく構想が固まってきた段階であり、今後の実現へ向けての取り組みに期待したい。

推進委員会からのコメント

- 柏の葉キャンパスシティでの取組みを是非柏市全体に波及させて欲しい。
- CASBEE評価Q2.1生活環境の観点について、長期的に注力して欲しい。
- 柏の葉キャンパスシティは世界に誇れるニュータウンだと思う。キャンパスシティでの成果を柏市全体に拡充して欲しい。
- エネルギーと高齢化との連携モデルが極めて重要となる。

評価指標リスト

指標番号	価値分類	評価指標名
指標01	環境	駅周辺5街区のエネルギー管理・節電ナビゲーションを行う『柏の葉・AEMSセンター』のインターフェイスシステム整備
指標02	環境	スマートメーター導入戸数
指標03	環境	カーボンオフセット協賛企業
指標04	環境	再生可能エネルギー地産地消システムの構築
指標05	環境	148街区における大規模ガス発電機の配備
指標06	環境	非常時における街区间電力融通
指標07	環境	次世代交通システム利用者
指標08	環境	柏ITS情報センターの設立
指標09	社会	トータルヘルスケアステーション施設数
指標10	社会	通所リハビリのサービス実施件数
指標11	社会	訪問リハビリのサービス実施件数
指標12	社会	運動器ケアの実施者割合(%)
指標13	社会	口腔ケアの実施者割合(%)
指標14	社会	栄養ケアの実施者割合(%)
指標15	社会	元気高齢者が地域で活躍できるコミュニティ構築
指標16	社会	地域カホイントプログラム加入者数
指標17	社会	実証実験の市民モニター数(人)
指標18	社会	フィールド型研究・実証実験数(件)
指標19	経済	エンジェル税制活用件数 (大学・研究機関発ベンチャー企業)
指標20	経済	TEPIによる柏市内ベンチャー企業の支援者数
指標21	経済	アワード開催回数
指標22	経済	ネットワーク参画機関数
指標23	経済	海外視察団体数

環境未来都市 PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリスト

作成日： 平成25年5月31日
 作成者(部署/氏名): 柏市企画部企画調整課/石名坂 賢一
 承認者(部署/氏名): 柏市企画部/岩崎 克康

確認事項	チェック項目	確認根拠	確認	是正処置
①環境未来都市計画及び目標の策定	環境未来都市計画の各取組に中長期(5年後)および単年度(1年後)の目標が設定されている。	環境未来都市計画書	✓	
	全ての目標値は定量的に評価できる。定量的に評価できない目標値は、その進捗を計測する代替手段がある。	環境未来都市計画書進捗管理表	✓	
	全ての取組においては責任者が定められており、明文化されている。	環境未来都市計画書	✓	
②実施体制の構築	構成員間の役割分担・責任分担が明文化された体制図が作成されている。	体制図	✓	
	部局間、事業間の連携を図るために仕組みづくり(会議運営等、各都市で具体的な内容を明記)が検討されており、かつ実行されている。	環境未来都市計画書	✓	
③都市間連携・ネットワークの有効活用	(都市名と具体的な連携内容記載)に関して連携をしている、もしくは今後連携を予定している。			未対応
	成功事例を他へ展開するために具体的な仕組みを構築している、もしくは今後構築を予定している。			未対応
④関係者の参画	全体計画の立案から、その実行、見直しの全てのフェーズにおいて関係者が参画している。	環境未来都市進捗管理表	✓	
	環境未来都市計画において各取組に参画が必要な関係者が特定されており、明文化されている。	環境未来都市進捗管理表	✓	
⑤関連文書の記録・作成	文書の作成者、承認者が決まっている。また文書・記録の管理を実施する責任者が決まっており、明文化されている。	環境未来都市進捗管理表	✓	
	作成された文書・記録の保管場所・保管期間が決まっており、関係者に周知徹底されている。	文書管理表	✓	
	ウェブサイト等のICTを活用した情報開示を行っている。	柏市ホームページ	✓	
⑥取組状況の定期的な確認並びに問題の是正および予防	計画の中で、定期的(2回/年)に「取組評価」の自主評価が明文化され、かつ実行している。	環境未来都市進捗管理表	✓	
	定期的(2回/年)な自主評価の結果、目標の達成が難しいと判断された取組に対しては確実に是正処置を施すよう、その確認をする責任者が決められている。	環境未来都市進捗管理表	✓	
	計画の中で、毎年PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリストの自主評価が明文化され、かつ実行している。	環境未来都市進捗管理表	✓	
⑦代表者による全体の評価と見直し	代表者による全体評価のプロセスが構築され、かつ実行している。	環境未来都市評価シート	✓	
	代表者による全体評価において評価すべき項目が決められている。	環境未来都市評価シート	✓	
	前回の代表者による全体評価での指示事項は全て実行されている。	環境未来都市評価シート	✓	
⑧その他	代表者による全体評価のプロセスが構築され、かつ実行している。	環境未来都市評価シート	✓	

是正処置への対応の詳細

環境未来都市の推進に対し、1年事業を行ってきたが、事業の内容によって、推進のスピードに違いが生じるため、その進捗管理を、担当者を変えたコア会議を実施し、全体で進捗管理体制を維持管理してきた。特に、年度の後半については、2週間に1度は最低でも進捗管理を行い事業スケジュールの推進をはかることができた。結果として平成24年度は進捗管理のためのコア会議を10回実施した。

代表者による確認

事業の推進にあたり、環境、超高齢化、経済と3つの異なる分野について、市の内部以外にも、東大、千葉大をはじめ、民間企業等との調整を図ることで、事業の推進を進めることができた。次年度は、これまでの進捗を含め計画の見直しを行い、積極的な環境未来都市の事業推進を図るよう関係者との調整に努める。

推進ボードによる確認

より密な連携ができてとても好ましい。
 柏市環境未来都市は民間企業(三井不動産)の開発地域にほぼ限定されており、産学官によるガバナンスにおいても三井不動産が中心となっている当未来都市の場合、民間企業先導を特質とするよ。民の主導するまちづくりに関わる官の立場の難しさは理解できるが、柏市のより主体的な関与が望ましい。官民の連携によるまちづくりの新たなモデルとなることを期待している。

推進委員会による確認

特段ご意見なし。

(参考)取組進捗状況一覧

環境未来都市計画での記載内容													1年目(2012年度)の達成状況					
都市名	取組番号	取組	指標番号	評価指標	価値分類	評価方法	基準値	1年目の目標値	2年目の目標値	3年目の目標値	4年目の目標値	5年目の目標値	1年目の目標値	1年目の実績値	単年度の達成度	5年目標に対する達成度	進捗状況説明	
千葉県柏市	取組01	駅周辺5街区のエネルギー管理・節電ナビゲーションを行う『柏の葉・AEMSセンター』のインターフェイスシステム整備	指標01	駅周辺5街区のエネルギー管理・節電ナビゲーションを行う『柏の葉・AEMSセンター』のインターフェイスシステム整備	環境	進捗率評価	—	概算設計の策定	詳細設計の策定	インターフェイスシステムの完成(6月)			概算設計の策定	概算設計の策定	100%	20%	駅前5街区におけるCO2削減割合(%)については、毎年 の測定が困難であるため、評価対象から外し、当該取組 については、残りの3つの指標により定量評価する。	
	取組02	ホワイト証書によるカーボンオフセットシステムの構築	指標02	スマートメーター導入戸数	環境	定量評価		750		1,800	1,800	1,800	750	413	55%	23%	スマートメーターの導入については、当初スケジュールより 半年ほど遅れてははじめたため、単年度の目標について は55%となっている。	
			指標03	カーボンオフセット協賛企業	環境	定量評価		2		5	5	5	2	2	100%	40%	予定通り進捗している	
	取組03	再生可能エネルギー地産地消システム	指標04	再生可能エネルギー地産地消システムの構築	環境	進捗率評価	—	太陽光発電システム500kw	蓄電池の増設	3街区での非常時3日分の生活ライフライン電力確保(約12000)			太陽光発電システム500kw	太陽光発電システム500kw	100%	20%	再生エネルギー地産地消システム、148街区における 大規模ガス発電機の設置に係る工事のスケジュールに ついては、予定通り平成26年度(平成26年5月)の完成 予定で動いており、当初計画どおりの進捗スケジュール となっている。このため、施設完成後、当初予定通り15% の削減は可能の見込みである。	
	取組04	148街区における大規模ガス発電機の配備	指標05	148街区における大規模ガス発電機の配備	環境	進捗率評価		概算設計の策定	詳細設計の策定	大規模ガス発電設備完成			概算設計の策定	概算設計の策定	100%	20%		
	取組05	非常時における街区間電力融通	指標06	非常時における街区間電力融通	環境	進捗率評価		太陽光発電システム500kw	蓄電池の増設	3街区での非常時3日分の生活ライフライン電力確保(約)			太陽光発電システム500kw	太陽光発電システム500kw	100%	20%		
	取組06	マルチ交通シェアリング・システムの拡充	指標07	次世代交通システム利用者	環境	定量評価	233	800					1,000	800	467	41%	31%	次世代交通システム利用者については、ポートの設置 予定が遅れたため、想定していた利用者増とは なっていない。そこで、新たに、定額制の利用や、一 昼夜のスポット利用割引、法人向けサービスなどを 行い、利用者増を行っていく予定である。
	取組07	柏ITS情報センターの設立	指標08	柏ITS情報センターの設立	環境	進捗率評価	0	ITSセンター案策定	ITSセンターデモ実施	ITSセンター設置	ITSセンターにてCO2削減量把握	柏地域のCO2排出量50000t削減	ITSセンター案策定	—	100%	20%	ITSセンター案を策定し、2013年10月に実施のITS世界 会議東京において、デモを実施する方向で事業が進捗し ている。	
	取組08	トータルヘルスケアステーションの創設	指標09	トータルヘルスケアステーション施設数	社会	定量評価 <small>※準備期間のため1年目は進捗率評価</small>	0	(トータルヘルスケアステーション開設準備)		3			7	(トータルヘルスケアステーション開設準備)	0	100%	20%	初年度は解読準備のため、定量目標が察知されてい ない。そのため、1年度については進捗率にて評価し、予 定通り実施した。
			指標10	通所リハビリのサービス実施件数	社会	定量評価	0	13930					20891	13930	12351	89%	59%	基準値である平成23年度は訪問リハビリテーション事業 が多く、24年度は前年度実績を下回ったため、当初目 標に満たなかった。
			指標11	訪問リハビリのサービス実施件数	社会	定量評価	0	2258					3383	2258	2720	120%	80%	予定以上の成果であった
			指標12	運動器ケアの実施者割合(%)	社会	定量評価	29.8	35					50	35	35	100%	26%	当初計画どおり事業が進捗した
			指標13	口腔ケアの実施者割合(%)	社会	定量評価	8.1	10					50	10	10	100%	5%	当初計画どおり事業が進捗した
			指標14	栄養ケアの実施者割合(%)	社会	定量評価	1.6	10					50	10	7	64%	11%	概ね事業スケジュールどおり事業が進捗した
	取組09	元気高齢者が地域で活躍できるコミュニティ構築 ～東京大学高齢社会総合研究機構・監修～	指標15	元気高齢者が地域で活躍できるコミュニティ構築	社会	進捗率評価		関係者検討会実施	地域健康施策の検討	新規活動実証実施	新規活動事業評価実施	新規活動事業本格実施	関係者検討会実施	関係者検討会実施	100%	20%	準備期間のため目標設定はない。元気高齢者が地域で 活躍できる仕組みの検討事業を行ったことを成果指標と する。新たに、高齢者を含めた地域の市民の健康度を高 めるための総合的な施策を検討し、次年度以降新たな 計画設定を行うための検討会を開催している。	
	取組10	大学・研究機関発ベンチャーを対象とした総合的支援	指標19	エンジェル税制活用件数 (大学・研究機関発ベンチャー企業)	経済	定量評価	0	1					5	1	0	0%	0%	総合特区を活用したエンジェル税制の規制緩和を前提と した目標であるため、規制緩和ができていない以上当初 の計画は進んでいない。
	取組11	個人(インフルエンサーやエンジェル)による創業支援のモデルケースの実現	指標20	TEPIによる柏市内ベンチャー企業の支援者数	経済	定量評価	0	30					70	30	30	100%	43%	当初計画どおり進捗している
	取組12	アジアの大学発ベンチャーをネットワーク化する“Asian Entrepreneurship Award”の開催	指標21	アワード開催回数	経済	定量評価	0	1					5	1	1	100%	20%	当初計画どおり進捗している
	取組13	地域の方で街を育てる地域力ポイント制度	指標16	地域力ポイントプログラム加入者数	社会	定量評価	0	300					1000	300	22	7%	2%	ポイントプログラムの実施が平成24年3月末開始となっ たため、実績値は7%となっている。しかし、4月以降精 力的なイベント等での募集を行っており会員数が増加傾 向にある。
	取組14	公民学の創造的交流を生み出し育む空間の拡充とプログラム展開	指標17	実証実験の市民モニター数(人)	社会	定量評価	1030	1300					2000	1300	1952	341%	95%	概ね計画を上回る数値で推移している。
			指標18	フィールド型研究・実証実験数(件)	社会	定量評価	43	50					60	50	52	129%	53%	概ね計画を上回る数値で推移している。
	取組15	公民学連携まちづくりセンター・ネットワークの構築と柏の葉モデルの世界展開	指標22	ネットワーク参画機関数	経済	定量評価	3	5					15	5	5	100%	17%	概ね計画どおりで推移している。
			指標23	海外視察団体数	経済	定量評価	11	20					30	20	45	378%	179%	概ね計画を上回る数値で推移している。